



動画でも  
ご覧いただけます。

# 笑福健幸

寄居町長

峯岸 克明



明けましておめでとうございます。町民の皆様には健やかに新年をお迎えのこととお慶び申し上げます。昨年は寄居町におきましても、大きな転換点となる年でありました。

3年余り続いた新型コロナウイルス感染症による影響ですが、昨年5月に感染症法上の分類が2類相当から5類へ移行となったことを受け、さまざまな社会・経済活動が再開されました。各種イベントでは、この日を待っていたかのように多くの来場者で賑わいました。

また、120年ぶりの大改修となった寄居駅南口には、新たな拠点であるYotteco、YORIBAがオープンし、想定を上回る活用と利用者(12月末現在で約5万人)を迎えています。

広くなった駅前からの中央通りでは、寄居北條まつり(来場者約5万5000人)、寄居玉淀水天宮祭(来場者約6万5000人)、産業文化祭・ふるさとの祭典市(来場者約3万人)が盛大に開催され、近年では一番の人数となりました。

## 必ず良くなる

企業活動についても、寄居桜沢産業界で今春までに3社が稼働予定であり、その他にも町内に立地を希望する企業との話し合いが進んでおります。

また、今年度は新年度の事業の中で、買い物の利便性と地域コミュニティーの再構築を図るための「移動

販売」を計画しております。さらに、皆様から要望の多い「道路整備」につきましても、新たな施策を取り入れてまいりたいと考えています。加えて観光の目玉としてAR、VRを活用した新アプリ「風雲Yotteco! 謎解き寄居町〜鉢形城攻防戦〜(仮称)」を制作します。

教育については、昨年から始まった全中学校での「探究学習」は、深い学びと自ら学ぶことを目指し、学向上はもちろん、新しい時代を力強く生き抜く子どもたちを育てるものです。

地域経済の活性化や家計応援については、3年目を迎える「地域通貨Yorica」のさらなる拡充、住宅改修補助などの充実により、地域内経済循環の活性化に努めてまいります。加えて、町の課題である少子化対策、健康長寿対策にもさらに力を入れてまいります。

## 今、必要なこと

今、寄居町に最も必要なもの、それは挑戦者です。まだ小さい芽ではありますが、移住、二拠点生活、開業など新しい動きが出てまいりました。町内からも新たな挑戦の声が聞こえます。こうした動きを確かなものにするためにも、今年はさらに力強く新しい挑戦を支援してまいります。

新しい一步を踏み出すために大切なこと、それは、

- ① やる気が出たから動くのではなく、  
動くからやる気が出る
- ② 学んだから発信できるのではなく、  
発信するから学べる
- ③ 続ければ結果が出るのではなく、  
結果が出るから続けられる
- ④ 何かを得たから与えるのではなく、  
与えるから何かを得られる
- ⑤ 正解の道を選ぶのではなく、  
選んだ道を正解にする
- ⑥ 楽しいから笑顔になるのではなく、  
笑顔でいるから楽しくなる
- ⑦ 欠点を指摘するのではなく、  
長所を褒める
- ⑧ あいさつはされるものではなく、  
するもの

令和6年も「可能性∞(むげんだい) 笑顔満タンよりいまち」「誇りある美しい町、よりい」をよろしく願います。

明けましておめでとうございます。

皆様におかれましては、輝かしい希望に満ちた新春を健やかに迎えられたことと、心よりお慶び申し上げます。

また、日頃から町議会への深いご理解と議会活動に対する温かいご支援・ご協力を賜り、厚くお礼申し上げます。

年頭にあたり、寄居町議会を代表いたしましたし、謹んで新年のごあいさつを申し上げます。

私は、昨年6月の定例会において、議員各位のご推挙をいただき、議長という大役を仰せつかりました。微力ではございますが、その職責の重さを自覚し、町民の皆様と議員各位のご協力を賜り、寄居町発展のため全力を傾注してまいります。

## 賑わいを期待

さて、昨年を振り返りますと、ニューイヤー駅伝で2年続けてのホンダチームの優勝という明るいニュースでスタートしましたが、長引くウクライナ情勢等の影響による原油や原材料費の高騰、さらには記録的

猛暑による影響や止まらない円安などにより、食料価格等が高止まりとなるなど町民生活にも大きな影響があった1年でもありました。また、新型コロナウイルス感染症につきましても、昨年5月に第5類に移行しましたが、完全終息とはなっておらず、秋口からは例年より早くインフルエンザが流行し猛威を振るっている状況が続いております。

一方、町内では昨年は長年の懸案でありました寄居駅南口駅前拠点施設「Yotteco」などが完成し、オープニングセレモニー等が盛大に開催されました。また、完成した都市計画道路中央通り線を活用した「産業文化祭・ふるさとの祭典市」が行われるなど、コロナ禍前の賑わいにもどりつつある状況となっています。中心市街地活性化事業で整備した新たな施設を利用したイベント等によるこれからの寄居町の賑わいを期待するところであります。

## 議会改革を進めます

町議会においても、昨年、全議員にタブレット端末を配付するなど、議会のDX化の推進に取り組んで

おります。12月議会では、紙の議案とタブレット端末でのデータを併用する議会を試行しました。3月議会においても同様の試行を行い、6月議会からはペーパーレス議会に移行できるよう進めてまいります。

また、昨年10月には議会基本条例に基づき、全会一致で合意形成した「町道整備の推進について」「ライフ跡地活用について」の2項目について、議会の総意として町長に提言いたしました。さらに11月には4年ぶりとなります「議会報告会・意見交換会」を開催し、多くの方から貴重な意見を伺いましたので、いただいた声をこれからのまちづくりを生かしてまいります。今後もさまざまな取り組みを行うことにより、引き続き議会改革を進めてまいります。町民の皆様には、引き続き議会に対しまして、ご支援とご協力をお願い申し上げます。

結びにあたり、寄居町にとりまして新しい年が、夢と希望に満ちた素晴らしい年になりますよう心よりご祈念申し上げます。新年のごあいさつとさせていただきます。

# 議会前進

寄居町議会議長

吉澤 康広

